

令和3年 3月号

家庭教育学級

のびっこ

恵那市生涯学習課

社会教育指導員 堀



学級生と主事がともに歩んだ1年 この歩をずっと続けて！

2月はどのコミュニティセンターでも、来年度の入級申し込みの話でもちきりです。〇〇コミュニティセンターの乳幼児期の家庭教育学級にお邪魔した時のことです。入級お誘いのチラシをもらったので、見ると素晴らしい文章が書かれていましたので、紹介します。

『乳幼児期の家庭教育学級』とは

保護者の学びの場、保護者同士や親子の交流を目指す場です。ひとりではどうしたらいいのか不安に思っていること、困っていることなどを仲間と話したり、自分の経験を伝えたりする交流の場へ参加してみませんか？子育て・育児などについてコミュニティセンター職員や社会教育指導員が支援します。仲間をつくる良い機会です。ぜひ、ご参加ください！

こうした活動は各地域コミュニティセンター、恵那文化センターで行っております。

【対象者】 0歳～入園前の子どもを持つ家族（父親、母親、祖父母など）

【学習内容】 地域の特性を活かした体験学習・学び、交流を考慮した年間計画に基づきます。

【その他】 *途中まで、途中から、1回のみ参加も可能。

*アルコール除菌、大きな部屋の使用等、コロナ感染対策をしています。安心してご参加ください。 (一部抜粋 実物はもっと詳しく書いてあります)

この文章を読んで感心しました。

居住地の乳幼児期の家庭教育学級の紹介ばかりではないからです。恵那市全体で取り組んでいることが読んでいてわかりました。また、誰でも何時でも参加できるという気安さがあること、地域の良さを生かした学びの場であること、参加者は母親に限っていないということもわかります。家族全員で子育てすることや母親ばかりでなく、周りの人が支えて子育てする大切さも伝わってきます。

4月からもひとりの子どもを周りのみんなで見守り“すくすく”をめざし育てていきたいですね。学級生みんなで支えあって楽しい子育てができる乳幼児期の家庭教育学級になるといいですね。



コロナ禍だけど、子育てパワーを発揮して学びの充実を！！

佐藤一斎先生の『言志四録』の教えを子育てに生かす

しょう まな すなわ そう な あ
少にして学べば、則ち壮にして為す有り。

そう まな すなわ お おとろ
壮にして学べば、則ち老いて衰えず。

お まな すなわ し く
老いて学べば、則ち死して朽ちず。

(言志晩録60条)

若いうちに学んでおけば、大人になった時には、人の役に立つことができます。

大人になって学んでおけば、年をとってもイキイキとした気持ちでいられます。年をとっても学び続ければ、ますますしっかりした考え方や生き方ができて、死んでもその名前や業績が語りつがれます。

人生に無駄なことは一つもありません。どんなことからでも学ぼうとする気持ちを、いつも忘れないことが大切です。

学ぼうとする気持ちを忘れないでください。

「人生に無駄なことは一つもありません」ですね！



エーナちゃん

学級には学びあい・思いあい・支えあいがいっぱい、いっぱい

乳幼児期の家庭教育学級通信「のびっこ」で、佐藤一斎先生のお言葉を読みながら子育てについて考えるようになって、4年が過ぎようとしています。どの言葉も子育ての真髓を突いているような内容ばかりです。どんな言葉をもってしても、ぴったりと言い表すことができないようで佐藤一斎先生の教えを伝えることで間違いなしと確信していました。言葉には人間として『思いあう心・支えあう勇気・つながりあう優しさと温かさ』が示され、みんなで学びあうことができました。

私事で大変に礼を欠いてしましますが、一筆書かせていただきます。乳幼児期の家庭教育学級に学びの場を得て、5年になります。日々、学級で皆様とお子様に出会い、新しい発見や様々なことを学ぶことができました。学級の活動を終えて、帰りの運転はさすがしく宝物をもらったような気分になることができました。佐藤一斎先生の『壮にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず。』を実感する至福のひと時でした。社会教育指導員としての仕事を終える最後の通信には【言志晩録 60 条】のお言葉を皆様にお伝えしようと決めていました。学びは人生を豊かにしてくれます。長い間、学びの場を共有できましたことに感謝しています。ありがとうございました。

これからも引き続き、皆さま、お元気でご活躍ください。